

災害被災者支援と災害対策改善を求める広島県連絡会（略称：広島県災対連）

広島災対連NEWS

N017 2015年2月23日発行

事務局：広島県労連 広島市東区光町2-9-24-205 TEL082-262-1550 FAX082-261-5059

ブログ//h-kenroren.cocolog-nifty.com// E-mail/bwz23598@nifty.com

「被災者の声を聞け！」2・13国会行動に400人

～広島からの16,288筆署名を
含め52万筆の署名提出～

「被災者の声を聞け!」、2月13日、生活再建の支援、願発賠償の継続などを求める災害対策の国会総行動が東京で行われ、全国から400人が結集、広島から被災者4名を含む13名が参加しました。

「被災者再建支援制度の抜本的拡充を求める」請願署名は全国から52万筆（広島1万6288筆）が国会に提出されました。

午前中に開かれた全国災対連第16回総会＝被災4年の東日本大震災では、23万人余が未だに避難生活を余儀なくされ、災害復興住宅建設が遅々と進まないなか、膨大な関連死が生まれている実態が報告されました。広島県災対連からは、澤田カヨ子代表が広島の活動を報告し、全国の仲間とともに災害支援法の抜本改善に向けて取り組むと決意を語りました。

～東北被災3県のなかまと共に、広島から13名が参加～

午後は災害復興に関わる政府との要請行動が行われ、内閣府・厚生労働省・復興庁・中小企業庁の4省庁への省庁統一要請では、広島から、二重債務解消制度の適用を強く求める要請を行いました。広島要請団は日本共産党大平よしのぶ議員とともに広島独自要求の省庁交渉を行い、市街地住宅の危険性、復興事業と住宅・用地買収、二重債務、避難所整備などの独自要請に金融庁、文部科学省、国土交通省、経済産業省の

4省庁から11人の担当者が出席、被災者の声を直接届け改善を強く要請しました。同時に広島県選出の全国会議員に、国会請願署名の紹介議員になっていただきたい、地元選出議員として支援をお願いしたいと要望しました。

参加した八木3丁目小原山町内会 川地勇さんは、「省庁担当者が10名揃って対応したことは評価するが、今後は要求に対する具体的成果を期待したい」と話されています。



△400名が国会前に集結



△広島から13名参加



△全体会で発言する川地勇さん



△広島選出国会議員訪問